

女子高
Jr.走

萩原が優勝

倉吉高 田中倉吉高 4位入賞
ユース 女子や



陸上の「第28回日本ジュニア選手権」と「第6回日本ユース選手権」は19日、愛知県の瑞穂公園陸上競技場で開幕し、鳥

取関係はジュニア女子走り高跳びの萩原くらら（倉吉東高）が優勝した。同種目では県勢初。ユース女子やり投げの田中晴菜（倉吉総合高）が4位入賞、男子の小椋健司（倉吉総合高）は10位に終わった。

台風による強風で出場選手が苦しんだジュニア女子走り高跳び。1.57mを2本目で跳んだ萩原は、1本目でクリアしたぎの清流国体3位の岩田（愛知・至学館大）と一騎打ちへ。1.57mを3回連続で失敗した岩田に対し、萩原は最後の3本目で成功し、頂点に立った。

【男子】ユース
▽やり投げ ⑩小椋健司（倉吉総合高）56.51
【女子】ユース
▽やり投げ ④田中晴菜（倉吉総合高）45.95
◇ジュニア

▽走り高跳び ①萩原くらら（倉吉東高）1.57m
優勝はびっくり
ジュニア女子走り高跳

び優勝・萩原くらら（倉吉東高）の話。ぎの清流国体でいい結果（自己新で成年4位）が出せたので、楽しく跳ぼうと臨んで、1.57mは跳びたいと。思っていたが、優勝は自分でもびっくり。3月の室内陸上を（1.57m）80台で連覇して高校を締めくくりたい。

表彰状
ジュニア女子走り高跳びで1.57mをマークして優勝した萩原くらら。愛知県瑞穂公園陸上競技場